

BUILDING MAINTENANCE NEWS

VOL.271
11月号
2011年

愛知

社団法人
愛知ビルメンテナンス協会
愛知BMA

発行・編集 社団法人愛知ビルメンテナンス協会広報イメージアップ委員会 / E-mail aichibm@lilac.ocn.ne.jp URL(アドレス)http://www.aichi-bma.jp
〒460-0003 名古屋市中区錦3-23-31 栄町ビル6階 TEL 052-972-1451 FAX 052-972-1452

今月の視点

ビルメンテナンス業の災害動向

愛知労働局労働基準部安全課長 増田 稔久

ビルメンテナンス業の皆様におかれましては、労働行政、とりわけ労働安全衛生行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、皆様方におかれましては、日頃より労働災害防止の重要性を深く認識され、労働災害防止活動を活発に展開していただいていることに、心から感謝申し上げます。

今年は3月11日に発生した東日本大震災により東北地方を中心に未曾有の被害となり、さらに9月には台風12号、15号による大雨の被害も発生し、過去にない大規模な自然災害に見舞われる年となっています。近年の自然災害は、過去の災害の形態の範囲を超えて大規模化してきており、想定外の災害となって今までの対応では十分に機能しなくなっています。そのため、あらゆるリスクを想定した今まで以上の災害に対する備えが必要になってくるものと思われま

す。さて、ビルメンテナンス業における労働災害の発生状況ですが、全国における死亡者数は一昨年は15人でしたが、昨年は21人と40%も増加となっております。その70%以上の15人が墜落災害となっております。その中で、ガラス外装クリーニング協会において3月に「ブランコ作業マニュアル」が作成され、平成23年の死亡者数は8人、うち墜落災害2人と大幅に減少がみられ、一定の効果が出ているものと考えております。

次に、愛知県におけるビルメンテナンス業の労働災害の発生状況を見ますと、労働災害は長期的には減少傾向を示しておりますが、平成22年の労働災害は、休業4日以上死傷者数が137人(前年比+6人)と前年と比較して若干増加し、死亡災害も2人発生しております。

その内訳を見ますと、死亡災害は墜落災害と挟まれ災害で

た。(図1参照)

死傷災害の事故の型別では、転倒災害が63人(46%)と1番多く、次に墜落・転落災害32人(23%)、挟まれ・巻き込まれ災害11人(8%)、その他となっております。(図2参照)

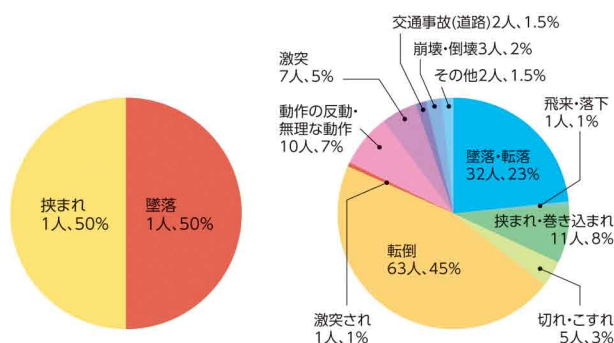
ビルメンテナンス業においては労働者の高齢化による転倒災害の発生が多発しており、また、高所作業による墜落、転落災害の危険が高いものと思われま

す。特に墜落・転落災害は大きなリスクを伴い、発生すれば重篤な災害となり徹底した安全管理が求められています。

このように、貴会会員の皆様方におかれましては、労働災害防止のために、今後も経営トップの決意のもとにリスクアセスメントを実施することにより、自主的な安全衛生管理活動を積極的に推進し、リスク低減による職場環境の安全化を進め、併せて働きがいのある安全な職場づくりの形成に努めていただきますよう、お願いいたします。



平成22年ビルメンテナンス業災害発生状況



(図1) 死亡 労働災害型別発生状況(平成22年)

(図2) 休業 労働災害型別発生状況(平成22年)

